

News

病後児保育室「星の子ルーム」が軽症病児・病後児保育室に



優しい先生が待っています!

12月から、軽症病児の受け入れを開始し、軽症病児・病後児保育室「星の子ルーム」として運営を開始しています。原則、体温が38.9℃以下のお子さんを受け入れます。是非、ご利用下さい。

※次の症状が見られる場合は受け入れできませんので、ご注意ください。
 ① 活気・食欲がない ② 嘔吐の症状がみられる ③ 水分を摂取できない ④ その他、隔離の必要な疾患及び感染性の高い病原体による疾患の急性期
 ※施設内感染防止のため、インフルエンザ流行期(仙台市内でインフルエンザ注意報が発令されている期間)は、発熱から16時間以降に実施したインフルエンザ検査が陰性の場合のみ利用可とさせていただきます。



広々としたフロア、おもちゃも沢山 工作遊びもしています バランスのとれた手作りの昼食

お問い合わせ先 東北大学病院 軽症病児・病後児保育室「星の子ルーム」
 (TEL)022-717-7819 (受付時間)7:15~18:00
 ※受付は祝祭日および年末年始の休日を除く(月)~(金)

動画「東北大学における共同参画の推進 ~未来をTUMUG~」英語版 完成

是非ご覧ください!

本学の共同参画に向けた支援制度や充実した研究環境について紹介しています。

- ▶ 英語版 <https://youtu.be/c6onZFoK-sM>
- ▶ 日本語版 <https://youtu.be/lgpQy8R0-gM>



▶ 英語版

▶ 日本語版

Activities

センター関係者による共同参画推進活動 (2018年10月~12月)

- 大隅 典子(センター長)
10月22日 英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)のダイバーシティ担当者との意見交換
- 10月23日 宮城県主催フォーラム「WIT2018宮城」のモデレーター兼パネリストとして登壇
- 田中 真美(副センター長)
10月5日 平成30年度工学研究科等新規採用等教職員合同研修にて講義
- 芳賀 満(副センター長)
12月1日 文部科学大臣より日本ユネスコ国内委員会委員、文化活動小委員会委員に任命
- 瀬戸 文美(特任助教)
10月13日 第16回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムにてポスター発表
11月20日 本学イノベーション創発塾 講師

Event

開催報告

平成30年度マネジメントセミナー「キャリアブランディングとしてのファッション - 仕事で成功するための服とは?-」



山原 恵美子 氏

日時:1月22日(火)16:00-17:00 講演、17:30-19:30 懇談会
 会場:片平北門会館エスバス(片平キャンパス)
 参加者:68名
 講師:山原 恵美子 氏 (ファッション・ディレクター、一般社団法人ウーマンメディア協会理事)

「仕事で成功するための服とは?」「身の丈に合っている服を選ぶためのルール」「仕事が出来そうに見える服の秘密」「似合うバランスの見つけ方」「コーディネートは〇〇から!」をテーマに、キャリアを磨く上のツールとしてファッションをいかに活用していけばよいのか、その基本とノウハウを学びました。



男女共同参画セミナー 研究者ってなに?「博士課程進学」編

日時:12月17日(月)14:00~15:30 参加者:45名
 会場:片平さくらホール2階会議室

博士課程在学中の大学院生と、博士号を取得して大学や企業等、それぞれのフィールドで研究職として活躍している女性研究者をパネリストとしてお迎えし、博士課程進学の魅力や実際、博士課程修了後のキャリアパスを紹介しました。



第2回スキルアップセミナー「英語科学論文の書き方と英語プレゼンテーションのコツ(2日コース)」

日時:1日目 10月31日(水)15:00~17:00
 2日目 11月 1日(木)10:00~12:00
 会場:片平北門会館エスバス(片平キャンパス)
 参加者:2日間合計51名(1日目:33名、2日目:18名)



TUMUG Café

第8回「~熱がでてあわてないで~発熱時のケアのポイント!」

日時:10月26日(金)12:00~13:30 参加者:11名
 会場:文科系総合講義棟(川内キャンパス)105ミーティングルーム2
 話題提供者:松田 ひとみ 氏(星の子ルーム 保育士) 石屋 久仁子 氏(星の子ルーム 看護師)

第9回「保育園を見学しよう!~平成31年度入園に向けて~」

日時:12月19日(水)12:00~13:30 参加者:9名
 会場:青葉山みどり保育園(青葉山新キャンパス)

川内けやき保育園及び青葉山みどり保育園 平成31年度4月入園の園児募集(締切1月31日)

募集要項等詳細は、右記学内保育施設Webをご覧ください。

イベント詳細の確認等は 右記QRコードおよびTUMUG Webよりご覧下さい。
 ▶ <http://tumug.tohoku.ac.jp>



2019 VOL.14

「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。



大野総長・大隅副学長、沢柳記念賞受賞者を囲んで

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業の進捗状況

平成30年度 第2回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」受賞者 決定

第2回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」では、計18名の申請を受け、人文・社会科学、理学・工学、農学・生命科学、医歯薬学・保健の4分野から各1名、合計4名の受賞が決定しました。

受賞式は、第5回管理職セミナーにて実施します。受賞者には、表彰状ならびに副賞(研究教育費として1名あたり25万円)が授与されます。

- 人文・社会科学分野 石綿 はる美 (法学研究科 准教授)
- 理学・工学分野 福泉 麗佳 (情報科学研究科 准教授)
- 農学・生命科学分野 佐藤 優花里 (生命科学研究科 助教)
- 医歯薬学・保健分野 落合 恭子 (医学系研究科 助教)

開催告知

第5回 管理職セミナー・介護セミナー

日時:3月18日(月) 会場:さくらホール(片平キャンパス)

どなたでも参加可能です!

第1部 管理職セミナー

時間:14:30~15:30
 対象:本学の管理職

女性教員の採用促進とダイバーシティ研究環境の実現に向けた施策について、これまでに女性教員採用促進事業に採択された部局の取組の報告や採用された女性教員の部局長による紹介を中心に、今年度までの実施状況を報告します。

第2部 介護セミナー

時間:15:40~17:10
 対象:学内教職員、学生および一般

学内外より3名の講師をお迎えし、各々の視点からの仕事と介護の両立についてご講演いただきます。

- 講師: アンケート結果から見た本学教職員の介護状況
 吉田 浩 氏(高齢経済社会研究センター長、経済学研究科 教授)
 介護保険制度の概要について
 柿沼 真吾 氏(仙台市健康福祉局保健高齢部介護保険課介護保険係長)
 「夫の介護」が教えてくれたこと
 川村 隆枝 氏(国立病院機構仙台医療センター麻酔科部長)



吉田 浩 氏 川村 隆枝 氏



参加登録フォーム

平成30年度 東北大学女性教員採用促進事業「(2)ポストアップによる女性上位職移行策」採択部局のお知らせ

医学系研究科

東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
 E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp
 Web <http://tumug.tohoku.ac.jp/>



平成29年度 第1回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」受賞者のご紹介

むらさきせんたいはぎ

人文・社会科学分野

永吉 希久子

文学研究科 准教授



受賞課題:
外国人への差別の発生における
社会制度の影響に対する研究

私の研究テーマは、移民との共生の達成において制度の果たす役割を明らかにすることです。特にその国のネイティブ住民の移民に対する態度に与える影響を検証してきました。

「女性」研究者として賞をいただくということに対して、複雑な思いもありました。しかし賞をいただいたこと、そしてそれ以上に、授賞式では異分野で活躍しておられる女性研究者の皆様の研究発表を聞き、自分の発表にもコメントをいただいたことで、刺激を受けることができました。受賞を機に、選んでいただいたことに恥じないよう頑張っていかなければならないと気を引き締めています。研究者を目指す女性の大学院生の皆さんにとってロールモデルとなれるよう、プライベートとのバランスを取りながら、研究に邁進してまいりたいと思います。

医歯薬学・保健分野

有澤 美枝子

薬学研究科 准教授



受賞課題:
新規な有機ヘテロ元素化合物の
遷移金属触媒合成と機能開発

医薬品や機能性材料として広く利用されている酸素、窒素、フッ素、イオウ、リンなどの有機ヘテロ元素化合物は医薬品の基本骨格として重要です。私の研究は、斬新な遷移金属触媒反応を開発して、本質的に新規な分子骨格の有機ヘテロ元素化合物を合成して、特徴的な機能を発現する創薬研究を行う内容です。

一人目を出産した頃に東北大学で女性研究者への支援がスタートし、完成したばかりの学内保育園に生後二ヶ月で長男を預け仕事復帰を果たしました。その後、東北大学の多様な男女共同参画推進支援は、私の研究継続のための重要な支えとなっており、大変感謝しております。また、薬学研究科では、女性教員の活躍の場として、創薬マインドを持った女性教員のみからなる女性機能有機分子創生チーム「ORCHID」を創設し、女性の視点から創薬に関する共同研究を行っています。皆で協力して継続的な成果の創出と高いモチベーションを維持できる研究ネットワーク形成は重要であると感じています。

理学・工学分野

梅津 理恵

金属材料研究所 准教授



受賞課題:
高機能・磁気機能性材料の
基礎物性と電子状態に関する研究

Mn, Fe, Co, Niなどの3d遷移金属が主役を担う金属磁性材料の基礎研究を行っています。高スピン偏極材料、磁性形状記憶合金、希土類代替磁石材料、磁気冷凍作業物質、振動発電素子用磁歪材料など、様々な機能の発現機構を電子状態と関連付けて解明し、新規機能性磁気材料の開発や材料設計を研究の目的としています。

折しも、私の研究分野は、東北大学が掲げる4つの世界トップレベル研究拠点のうちの「材料科学」と「スピントロニクス」の両方に関わる内容であり、指定国立大学法人に指定された同じ年度に受賞したことは、機運を感じずにはいられません。お力添え頂いた皆さんに恩返しができるよう、良い研究成果を発信していきたいと思っております。私生活における目標は、反抗期真っ盛り、もしくはこれから迎える3人の子供たちとの距離を上手に保ち、それぞれの成長を楽しむ余裕を持つことです。

農学・生命科学分野

常松 友美

学際科学フロンティア研究所・生命科学研究科 助教



受賞課題:
電気生理学および
光遺伝学的手法を用いた睡眠研究

我々は人生のおよそ3分の1の時間を眠って過ごします。睡眠は、生きていく上で必要不可欠な本能行動ですが、未だに、何故眠るのか?何故夢を見るのか?という根本的な問いに正確に答えることは難しく、脳科学最大のミステリーのひとつです。私は、その謎を解くべく、マウスを用いて睡眠覚醒制御機構の解明を目指し、研究を進めています。

東北大学に採用されて、およそ1年での受賞となり、正直、まだまだ東北大学に貢献できていない身で受賞しても良いものかと戸惑いました。しかし、この賞を励みに、ここ東北大学で新たな睡眠研究を推し進め、睡眠の生理的意義に迫っていきたく、改めて気持ちを引き締めています。今後は、夢見の研究も行い、快適な睡眠、楽しい夢見ライフを送れるよう、社会への貢献を目指しています。



平成30年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動

開催報告

東北大学サイエンスカフェ

会場: せんたいメディアテーク1階 オープンスクエア

「がんは、何から出来てるの?」

日時: 10月26日(金) 18:00~19:45

参加者: 120名 / 参加SA: 8名

講師: 中山 啓子(医学系研究科 教授)

「モンゴル遊牧民の移動のふしぎ
~人と自然の関係を考える~」

日時: 1月11日(金) 18:00~19:45

参加者: 80名 / 参加SA: 6名

講師: 柿沼 薫(学際科学フロンティア研究所 助教)



出張セミナー / 宮城県立宮城第一高等学校

日時: 11月15日(木) 13:40~14:35

参加者: 80名、参加SA: 9名

大学訪問 / 山形県立山形西高等学校

日時: 11月10日(土) 10:00~14:30

会場: 農学研究科大会議室及び研究室

参加者: 20名、参加SA: 5名

大学訪問 / 山形県立山形東高等学校

日時: 12月25日(火) 10:00-15:30

会場: 生命科学研究科他

参加者: 50名、参加SA: 9名

Pick Up!! 是非ご覧ください!

日経カレッジカフェ×サイエンス・エンジェル

大学生のためのキャリア支援メディア「日経カレッジカフェ」に、エッセイを連載しています。

右記QRコードより是非ご覧下さい。



Program

平成31年度 TUMUG支援事業のご案内

平成31年度「TUMUG支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)」を下記の通り実施します。公募要領をご確認の上、是非ご応募ください。

研究支援要員

両立支援 女性リーダー育成

内容 研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助

対象者 ◎出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)
◎国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員

スタートアップ研究費

女性リーダー育成

内容 新規採用の女性教員に、研究スタートのための研究費を支援

対象者 新規採用の女性教員(助教以上)

ベビーシッター利用料等補助

両立支援

内容 研究・教育と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助

対象者 育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等(男女)

ネクストステップ研究費

女性リーダー育成

内容 新規の研究課題の遂行や、研究成果の公開に必要な研究費の支援

対象者 女性教員(准教授、講師、助教、助手)

※プログラムによって対象と締切が異なります。 ※各部署担当係を通じての申請となります。各部署における締切にご注意ください。 ※プログラム内容を変更する場合がございます。詳細は、追って公開される要項をご確認ください。

開催報告

第15回東北大学男女共同参画シンポジウム
Dual Career Couple 今と未来の「共働き」を考える

日時: 12月8日(土) 13:00~17:00 茶話会17:00~

会場: 翠生ホール(青葉山新キャンパス) 参加者: 84名(関係者含む)

シンポジウム開会に際し、室伏 きみ子氏(お茶の水女子大学学長)にご挨拶頂き、引き続き澤柳記念賞授賞式とA賞受賞・九州大学研究戦略委員会代表 上瀧 恵里子氏とB賞受賞・大阪府立大学理系女子大学院生チームIRISによる受賞講演が行われました。

特別講演では、「民間企業の研究者から東京都議会議員へ ~自分なりの社会貢献を模索して~」をテーマに福島 りえこ氏(東京都議会議員)に講演いただきました。

パネルディスカッションでは、パネリストとして横田 智史氏(特定非営利活動法人ファザーリングジャパン東北 代表理事)をお招きし、特別講演講師の福島氏、および本学の学生・教員と共に「共働き」について若い人はどのように描いているのか、結婚・仕事・家族への夢や不安、現状の壁を破る発想や、今の大人がなすべきことについて語り合いました。

TUMUG支援事業に関するお問い合わせ先

●男女共同参画推進センター
TEL 022-217-6092
E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp

東北大学サイエンス・エンジェル

次世代育成

内容 出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント等の企画・実施

対象者 自然科学系部局に所属する大学院女子学生

仙台Iゾンクラブ
東北大学大学院女子学生のための
国際学会発表渡航支援事業

次世代育成

内容 海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援

対象者 大学院女子学生



大野 英男 総長 室伏 きみ子 氏



上瀧 恵里子 氏

IRIS



会場の様子



パネルディスカッションの様子



福島 りえこ 氏

横田 智史 氏